

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 千葉県立流山おおたかの森高等学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒270-0122
千葉県流山市大畔275-5
 Website: http://www.chiba-c.ed.jp/n.otaka-h/
 児童生徒数：男子411名 女子590名 合計1001名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<はじめに>

千葉県立流山おおたかの森高等学校は、平成20年4月、流山東高等学校と流山中央高等学校の統合によって、県内初の「国際コミュニケーション科」を有する学校としてスタートした。本校の教育方針の1つである「国際化の進展した社会で活躍できる人間の育成」は、これからの時代を見据えた教育方針であり、本校において特色ある教育活動を展開するためのキーワードとなっている。本校はユネスコスクールとして、この国際理解教育を推進している。なお、平成26年度は、ユネスコスクール世界大会に先立って行われた歓迎会に本校から2名の生徒が参加し、祭り寿司の説明及びソーラン節の披露でおもてなしを行った。

1 留学生との交流

(1) 麗澤大学留学生との交流

①「留学生が先生」

6月に麗澤大学の留学生を1学年各クラスに1名ずつ講師として招き、写真や映像を使用しながら「自国の文化」「日本との違い」等について、紹介していただいた。また、本校生徒も伝統的な遊びを一緒に行ったり、日本の食べ物を振る舞ったりするなど、日本の文化を紹介した。

②「留学生とのグループ・トーク」

11月に1年生の国際コミュニケーション科の生徒を対象とし、「グループ・トーク」を実施した。1クラスを10のグループに分け、それぞれのグループに留学生が入り、「自分の国の誇れる文化」について、お互いの国の良さを紹介し、意見を交換し合った。

(2) 東京大学留学生との交流

7月に東京大学主催留学生による日本語スピーチの会に参加した。本校生徒は本校の国際理解教育に関する学校行事について、英語で発表し、その後、留学生との交流を行った。

(3) 短期留学生の受入

6～7月の約1カ月間、アメリカの高校生の短期受入を行った。1学年国際コミュニケーション科の一員として、本校生徒と一緒に授業を受け、学校生活を送った。

2 レッドリンチ高校（オーストラリア）との交流

(1) オーストラリア短期語学研修

全校生徒の希望者を対象に、7月19日から2週間、オーストラリアのレッドリンチ高校で短期語学研修を行った。今年度は1・2年生合わせて25名の生徒が参加した。現地においては、この短期語学研修が日頃の英語学習の実践の場となるように、ホームステイを行い、学校内においてもバディ（授業等一緒に受ける現地高校生）と一緒に生活する時間を多く設定した。

